



平成24年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年8月9日

上場会社名 アキレス株式会社

上場取引所 東

コード番号 5142 URL <http://www.achilles.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 中田 寛

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経理本部長 (氏名) 藤澤 稔

TEL 03-5540-9848

四半期報告書提出予定日 平成23年8月11日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第1四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第1四半期	18,894	△6.1	497	85.2	604	62.0	296	544.1
23年3月期第1四半期	20,112	4.8	268	—	373	763.1	46	△19.0

(注) 包括利益 24年3月期第1四半期 410百万円 (—%) 23年3月期第1四半期 △210百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第1四半期	1.57	—
23年3月期第1四半期	0.24	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第1四半期	71,381	39,558	55.4
23年3月期	73,813	39,715	53.8

(参考) 自己資本 24年3月期第1四半期 39,558百万円 23年3月期 39,715百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	0.00	—	3.00	3.00
24年3月期	—	—	—	—	—
24年3月期(予想)	—	0.00	—	3.00	3.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、第2四半期(累計)は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	40,000	△6.2	550	△47.4	700	△44.1	300	△51.9	1.59
通期	83,000	△4.4	1,800	△28.2	2,000	△27.5	1,000	△33.8	5.29

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年3月期1Q	195,627,147 株	23年3月期	195,627,147 株
② 期末自己株式数	24年3月期1Q	6,671,744 株	23年3月期	6,670,060 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年3月期1Q	188,956,089 株	23年3月期1Q	188,974,967 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続を行っております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想に関する事項は、四半期決算短信(添付資料)3ページ「(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（その他）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) セグメント情報等	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間における我が国経済は長引く円高・株安・原油高の傾向が続くなか、東日本大震災の影響も甚大であり、復旧が急がれ回復への道筋がようやく見えはじめましたが、電力供給の問題や原材料と海外調達品の価格上昇など懸念すべき問題も多く、予断を許さない情勢で推移しました。中国および新興国は高金利政策にもかかわらず引き続き景気拡大基調にあり、米国や欧州では緩やかな景気回復が続きました。

このような経済環境下、当第1四半期連結累計期間の業績は、売上高 18,894 百万円(前年同四半期比 6.1%減)、営業利益 497 百万円(前年同四半期比 85.2%増)、経常利益 604 百万円(前年同四半期比 62.0%増)、四半期純利益 296 百万円(前年同四半期比 544.1%増)となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

<シューズ事業>

長引く消費低迷による小売価格の低価格化と、東日本大震災に伴う生産活動の低下や消費マインドの悪化により、春物をはじめとして売上の不振が続き、前年売上を下回りました。その中にあって、「アキレス・ソルボ」は靴専門店、百貨店を中心に売場の構築を図ることができ、前年売上を上回りました。ジュニアスポーツの「瞬足」は継続して幅広い支持を得ておりますが、消費低迷の影響を受け、前年売上を下回りました。「スポルディング」は、ナショナルブランドの価格下落傾向が続く中、トーンングシューズをはじめとする、機能訴求商品を中心に拡販が図られ、前年売上を上回りました。また、「スケッチャーズ」においても、健康・美容志向に照準を合わせたトーンングシューズのシェイプアップスを中心に拡販ができ、前年売上を上回りました。

シューズ事業の当第1四半期連結業績は売上高 4,640 百万円(前年同四半期比 4.7%減)、セグメント利益は 348 百万円(前年同四半期比 72.9%増)となりました。

<プラスチック事業>

車体内装用資材は、震災後の部品供給不足問題による自動車メーカーの大幅な減産の影響を受け、前年売上を下回りました。

フィルムの国内事業においては、一般分野や電子材料用が引き続き堅調に推移すると共に、節電のための省エネ部材として遮熱用、間仕切り用などが前年売上を上回りました。また、農業資材も前年売上を上回りました。北米事業では、主力の文具などの動きが低調で、医療用でカバーできず前年売上を下回りました。

建装資材の床材は、仮設住宅などに向けたクッションフロアの需要増加により前年売上を上回りました。しかし、壁材は戸建住宅の着工遅れの影響もあり前年売上を下回りました。

引布商品は、テント、ジョイント、原反等が好調に推移し、前年売上を上回りました。

プラスチック事業の当第1四半期連結業績は売上高 7,982 百万円(前年同四半期比 10.8%減)、セグメント利益は 322 百万円(前年同四半期比 35.9%増)となりました。

<産業資材事業>

ウレタンは、長引く消費低迷の厳しい環境下に加え、車輪メーカーの減産の影響を受け前年売上を下回りました。

断熱資材は、住宅エコポイントの好影響、震災の仮設住宅向け需要などにより好調に推移しました。ボード製品は、戸建分野向け高断熱性能ボード「キューワンボード」の拡販により前年売上を

上回りました。また、鉄筋コンクリート造建築向けが主力のシステム製品、中間素材であるブロックを中心としたスチレン製品、畜産飼育施設用パネル製品についても前年売上を上回りました。

静電気対策品は、震災の影響と電子部品メーカーの再編、電子部品の価格低下などにより前年売上を下回りました。大型RIM成形品は、医療機器分野向けが好調で前年売上を上回りました。

衝撃吸収材は、主力のインソールとサポーターが苦戦し前年売上を下回りました。

産業資材事業の当第1四半期連結業績は売上高6,271百万円（前年同四半期比0.4%減）、セグメント利益は430百万円（前年同四半期比7.0%増）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間末の財政状態は、総資産は71,381百万円で前連結会計年度末に比較して2,432百万円減少しました。

資産の部では、流動資産は43,881百万円となり前連結会計年度末に比較して2,942百万円減少しました。これは主に、受取手形及び売掛金が2,928百万円減少したことによります。固定資産は27,499百万円となり前連結会計年度末に比較して510百万円増加しました。これは主に、有形固定資産が555百万円増加したことによります。

負債の部では、流動負債は22,147百万円となり前連結会計年度末に比較して2,236百万円減少しました。これは主に支払手形及び買掛金が1,207百万円、未払法人税等739百万円減少したことによります。固定負債は9,675百万円となり前連結会計年度末に比較して38百万円減少しました。

純資産の部は、前連結会計年度末に比較して156百万円減少の39,558百万円となりました。これは主に、利益剰余金が270百万円減少し、為替換算調整勘定が122百万円増加したことによります。以上の結果、自己資本比率は55.4%となり前連結会計年度末に比べ1.6%好転しました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成24年3月期の連結業績予想につきましては、平成23年5月13日公表の業績予想から変更はありません。

2. サマリー情報（その他）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成23年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	7,546	6,796
受取手形及び売掛金	26,585	23,656
商品及び製品	7,643	8,075
仕掛品	1,246	1,347
原材料及び貯蔵品	1,874	2,196
繰延税金資産	1,191	1,072
為替予約	53	—
その他	817	828
貸倒引当金	△136	△93
流動資産合計	46,823	43,881
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	7,580	7,877
機械装置及び運搬具（純額）	4,607	4,326
土地	5,307	5,308
建設仮勘定	555	1,116
その他（純額）	503	479
有形固定資産合計	18,554	19,109
無形固定資産		
	585	595
投資その他の資産		
投資有価証券	2,610	2,721
繰延税金資産	3,558	3,477
その他	1,769	1,681
貸倒引当金	△88	△85
投資その他の資産合計	7,849	7,794
固定資産合計	26,989	27,499
資産合計	73,813	71,381

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成23年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	14,024	12,817
短期借入金	2,269	2,278
未払金	3,743	3,877
未払法人税等	849	110
為替予約	—	32
P C B廃棄物処理引当金	13	0
その他	3,483	3,030
流動負債合計	24,384	22,147
固定負債		
長期借入金	3,000	3,000
長期未払金	116	112
繰延税金負債	130	143
退職給付引当金	6,176	6,129
資産除去債務	210	209
P C B廃棄物処理引当金	79	79
固定負債合計	9,713	9,675
負債合計	34,098	31,822
純資産の部		
株主資本		
資本金	14,640	14,640
資本剰余金	11,374	11,374
利益剰余金	15,609	15,339
自己株式	△941	△941
株主資本合計	40,683	40,412
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	325	368
繰延ヘッジ損益	32	△19
為替換算調整勘定	△1,325	△1,202
その他の包括利益累計額合計	△967	△853
純資産合計	39,715	39,558
負債純資産合計	73,813	71,381

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)
売上高	20,112	18,894
売上原価	15,900	14,688
売上総利益	4,211	4,205
販売費及び一般管理費	3,943	3,708
営業利益	268	497
営業外収益		
受取利息及び配当金	48	46
その他	87	77
営業外収益合計	135	124
営業外費用		
支払利息	25	11
その他	6	5
営業外費用合計	31	16
経常利益	373	604
特別利益		
固定資産売却益	2	1
投資有価証券売却益	—	0
貸倒引当金戻入額	108	—
国庫補助金	0	2
特別利益合計	111	3
特別損失		
固定資産除却損	14	9
投資有価証券評価損	0	2
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	198	—
特別損失合計	213	12
税金等調整前四半期純利益	271	596
法人税、住民税及び事業税	100	85
法人税等調整額	125	214
法人税等合計	225	299
少数株主損益調整前四半期純利益	46	296
四半期純利益	46	296

四半期連結包括利益計算書
第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	46	296
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△122	42
繰延ヘッジ損益	△186	△51
為替換算調整勘定	46	108
持分法適用会社に対する持分相当額	5	13
その他の包括利益合計	△256	114
四半期包括利益	△210	410
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△210	410
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間（自 平成22年4月1日 至 平成22年6月30日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	シューズ 事業	プラスチック 事業	産業資材 事業	計	調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
売上高						
外部顧客への売上高	4,869	8,947	6,295	20,112	—	20,112
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	43	201	245	△245	—
計	4,869	8,990	6,497	20,357	△245	20,112
セグメント利益	201	237	402	842	△573	268

(注)1. セグメント利益の調整額△573百万円は、各報告セグメントに配分していない全社費用（一般管理費）であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間（自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	シューズ 事業	プラスチック 事業	産業資材 事業	計	調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
売上高						
外部顧客への売上高	4,640	7,982	6,271	18,894	—	18,894
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	52	101	154	△154	—
計	4,640	8,034	6,373	19,048	△154	18,894
セグメント利益	348	322	430	1,102	△605	497

(注)1. セグメント利益の調整額△605百万円は、各報告セグメントに配分していない全社費用（一般管理費）であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。